

大成株式会社

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>大成株式会社は、1959年の創業以来、総合ビルメンテナンス事業を通して雇用機会の創出や建物機能の向上を図り、社会に貢献してきました。第7次中期経営計画（2020～2022年度）では「Ready for Change－変革への備え－」をスローガンに「持続可能な開発目標（SDGs）」を中核とした新たなSDGsポリシー「ファシリティマネジメント事業を通じて、環境と働き方改革に配慮した社会の実現の一端を担います」を掲げました。このポリシーの下、ステークホルダーとのパートナーシップを形成し、クリーンな水、ハイブリッドな社会、フレッシュな空気をテーマとするサステナブルな街づくりをめざした活動を推進していきます。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 7、12	<p>木材と紙を主材料にしたオフィス家具シリーズ「furniTure」を開発。材料となる早生桐はCO2の吸収量がスギの10倍もあり、通常の桐は20年程度で成木になりますが、早生桐は4～5年で丈夫な成木になります。当社では早生桐の植林、育成から手掛け、オフィス空間の改革をめざします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「furniTure」を中心としたオフィス環境づくりを2026年までに10件展開 ・早生桐苗を2026年までに4ha、2400本植林
	社会 8、9	<p>どんな方でも操作が簡単な警備アバターロボット「ugo」ならびに遠隔で受付業務対応が可能な受付システム「T-Concierge」を提供し、少子高齢化による働き手不足を解消します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・警備アバターロボット「ugo」、次世代受付システム「T-Concierge」2026年までに500台
環境 6、13	<p>清掃業務で使用する洗剤の使用量を削減することで、排水による環境負荷の軽減、少ない洗剤で汚れを落とす環境に配慮した清掃手法の実践します。</p>	<p>洗剤使用量2026年に2021年比50%削減</p>	